開発担当者

バリ取り先生が語る、バリ取り機選定の極意

バリ取り機とひと口に言っても、
ワークや目的によって
選ぶべき機種が違うのです。

導入コスト
ランニングコスト
作業スピード
使いどころ

どのバリ取り機が
うちに合うのか？

フラップブラシ式
バフ式
ベルト式
湿式
乾式

バリ取り機の種類と構造・得手不得手

フラップブラシ式	細かい紙やすりがブラシ状になっており、歯磨きのようにバリを叩き落としていく。柔らかく、ワークの形状に合わせて加工できるので、エッジも優しく仕上がる。微細なバリや表面加工済みのワークに最適。 細かいバリ等が粉塵として飛散するため、集塵機が必須。
バフ式	バフで表面を薄く削りとる。強力な研磨力で、広範囲のバリ、大きなバリ、レーザ加工後のドロスにも効果的。布やセラミックなど、素材や仕上げに合ったバフが揃っており、キレイな仕上がりが短時間で実現。スピード重視のラインに向いている。
ベルト式	紙やすりでできている研磨ベルトでバリを削り取っていく、大きなバリ向き。平面専用機、端面専用機もあり、一度バリ取り機を通すだけで表面やエッジが滑らかに。紙やすりの摩耗がはやく、交換の頻度が高い。

FUJIKIKO

開発者バリ取り先生のアドバイス

選定のコツと、よくある失敗も

素材編

素材の仕様は？

- □ 表面加工処理されている
（ボンデ鋼板など）
- □ キズ防止用シールなど貼り付け済み
- □ 表面加工処理されていない

表面加工されている素材を、大きなバリがあるからと言ってバフ式でバリ取りしてしまうと表面加工が削れてしまうことがあります。
キズ防止用シールが施された素材にもバフ式は向きません。
表面加工された素材にはフラップブラシ式、表面加工のない素材にはバフ式が向いています。

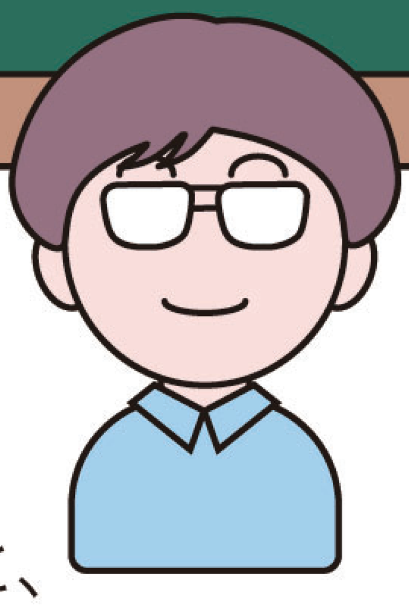
バリレベル編

バリの大きさは？

- □ 仕上げ加工・切削加工で発生する
・目視ではわかりにくい微細バリ
- □ 剪断、打ち抜きで出る、打ち抜きバリ
・目視でわかる
- □ レーザーやプラズマ加工で出る、ドロスなど
・ひと目でわかる

※素手で触ることは避けてください

大きなバリは、フラップブラシ式で取ることは難しいです。何度も作業を繰り返して少しずつ取っていく必要があり、それなりに時間がかかります。
バフ式なら、小さなバリはもちろん、大きなバリも短時間でしっかり取れます。
バリというのとは少し違いますが、レーザ加工後のドロスなどもキレイに除去できます。



バリの大きさ？

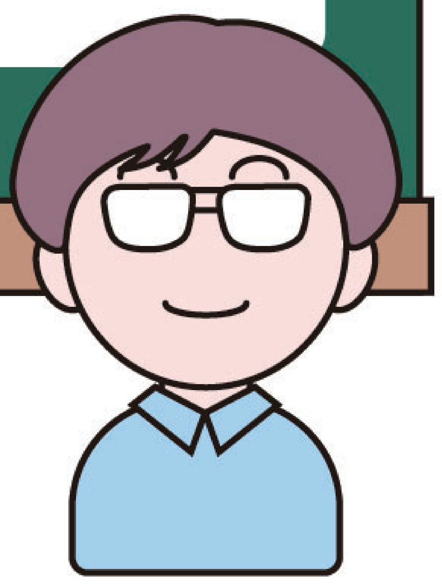
バリの大きさは感覚的なうえ、刃物が新しいときには目立たなかったのに刃物を使い込んでいくと大きく出るようになってより強力なバリ取りが必要になったりと、目の前のバリの大きさだけを基準にバリ取り機を選定するのは難しいのですが、右ページの選び方ガイドを参考に、希望の加工をご検討ください。また、バリ取り機の特性を考えた上で、各メーカーにサンプル加工を依頼すると良いでしょう。

仕上がり編

希望の仕上がりは？

- ☐ 元の素材に影響を与えたくない
- ☐ 元の素材よりも美しく仕上げたい
- ☐ キズを隠したりできれば
なお良いと思う

素材表面に影響を与えたくないワークには、優しくバリを取るフラップブラシ式がおすすめです。
バフ式は表面を削り取るので、皮を剥いたように美しく仕上がります。その特性を利用すると、硬いバフを使ってヘアラインのような仕上がりにすることも可能です。
大きなバリも取りつつ、仕上がりの美しさも重視するなら、バフ式がおすすめです。ちょっとしたキズ隠しに使っているという声も聞いています。



簡単選び方ガイド

	フラップブラシ式	バフ式	ベルト式
適した加工	微細なバリや表面加工素材のバリ取り、輪郭部の面取り	大きなバリ、光沢仕上げ	広い平面、端面のバリ取り
構造の特徴	フラップブラシが回転し、多方向から素材に接触	高速回転するバフで表面を削り取る	研磨ベルトが高速回転し、表面を削り取る
研磨材の種類	ブラシ（紙やすり）	バフ（布、セラミックなど）	研磨ベルト（紙やすり）
仕上がりの質感	滑らか	光沢・鏡面に近い加工も可能	紙やすりの種類で調整可能
作業スピード	大きなバリには回数が必要なので時間がかかる	速い	速い
使いどころ	精密板金・医療・航空部品など	仕上げ重視の素材 酸化スケールやドロスも除去可能	建材・鋼板加工など
コスト	同時に集塵機の導入が必須	湿式なら粉塵が出ず、集塵機は不要	導入は比較的安価でも、紙やすり交換頻度が高い

省力化補助金[カタログ型] FUJIKIKO 対象機種

■大きなバリ、しつこいバリやレーザ加工後のドロスなどに強い、バフ式

■対象ワークや仕上がりのご希望により、バフを選択可能　■粉塵、発熱のない湿式

バフ式　湿式　導入コスト　ランニングコスト　作業スピード

ツインバリトール

2バフ本タイプ

トリプルバリトール

3バフ本タイプ

バリトールⅣ

4バフ本タイプ

バリトールシリーズの特徴

1. コンベアにワークを乗せるだけでバリ取り完了
2. 操作、メンテナンスがカンタン！
3. 作業者の経験や熟練度に左右されることなく誰が作業しても高水準の安定品質を確保
4. 手作業でのバリ取りなど重労働の負担軽減

富士機工公式サイト
https://www.fuji-kiko.co.jp

省力化補助金概要

中小企業省力化投資補助金公式サイト
https://shoryokuka.smrj.go.jp

バリ取りは機械を導入しても価格に反映しにくい投資です。だからこそ、仕上がりを差別化し、製品価値を上げる力になりたいと思います。補助金活用のお手伝いもご相談ください。

このカタログの仕様は改良などにより変更になることがあります。

FUJIKIKO

株式会社富士機工

本社・工場　〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平2-92-3
TEL.042-560-7871　FAX.042-560-7883

名古屋営業所　〒486-0913 愛知県春日井市柏原町5-285
TEL.0568-84-8413　FAX.0568-84-8443

大阪営業所　〒661-0966 兵庫県尼崎市西川2-13-3
TEL.06-6499-5151　FAX.06-6499-5380

ホームページ　https://www.fuji-kiko.co.jp